

救急☆3分トレーニング

Vol. 31

救急課 高度救急研修センター



この「救急☆3分トレーニング」は、救急隊員が日ごろ疑問に思っていることや、知っているようで知らないこと、何となく他人に聞くのが恥ずかしいことなどを、分かりやすく、3分以内で解決するトレーニングです。新しい隊員さんだけでなくベテランさんも、出動の合間にササッと御覧いただき、今後の救急活動に役立ててください。

★救急の歴史…東京地下鉄サリンテロ事件（平成7年）



平成7年3月20日（月）午前8時頃、東京都心の地下鉄で発生した同時多発テロ事件は、死者13人及び6千人以上の重軽症者を出す大惨事となりました。

事件発生現場近くの某病院では、消防からの第一報が「地下鉄の駅で爆発火災」という内容であったといえます。しかし、次々と病院に搬送されてくる傷病者は、爆発による外傷ではなく、「縮瞳」「発汗」「よだれ」「呼吸障害」といった有機リン中毒の症状を呈していました。

原因物質が「サリン」と特定され報道発表が行われたのは、事件発生から約3時間後の午前11時でした。その間、救出救護活動に携わった多くの消防・警察・医療関係者にも汚染が拡大する結果となりました。

テロなどの集団災害対応で大切なことは、情報収集や指揮命令などの**C S C A T T T**です。たとえ想定外の事態に陥ったとしても、この基本原則を踏まえ、傷病者を救うことを第一に考えて対応することが大切です。

C: Command and Control (指揮と統制)
S: Safety (安全)
C: Communication (情報収集・伝達)
A: Assessment (評価)
T: Triage (トリアージ)
T: treatment (治療)
T: transport (搬送)